

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム おやの家

作成日: 令和元年 5 月 8日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	事業所として運営推進会議をどう活かしていくかを職員全員で話し合い、メンバー構成も含めて再検討してはどうか。利用者や事業所に対する地域の理解が深まり、利用者のサービスの向上につながるような話し合いの場として運営推進会議を活用することを期待したい。	運営推進会議は長期間において、ほぼ同メンバーで実施しており、継続して出席して頂いているメンバーを変更する事は行わない。その代わりに地域住民の方や他事業所の職員などに出席の打診を行う。	地域の集まりや近隣の運営推進会議などへの出席などをきっかけに地域住民の方に運営推進会議への出席をお願いしたり、ご家族代表を定期的に変更するなど、新たなメンバー構成で会議が行っていただけるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	26(10)	介護計画作成時のカンファレンスには利用者や家族が参加できることが望まれる。介護計画書を利用者や家族へ説明し、意向を確認するプロセスを丁寧に行って利用者や家族と共に計画を作成していくことを期待したい。	職員体制や日程調整などの都合上、多職種が集まったカンファレンスへご家族に参加して頂く事が現状難しい部分がある。ご家族の面会時等に話し合いの場を積極的に作り、意見を拾いあげ、介護計画に活かせるようにする。	定期面会時に意見交換や面談を行っているが、一方的な情報伝達にならないようにしていく。ご家族からの意見や要望などを口頭で気軽に頂けるような関係作りに取り組み、介護計画やケアに反映できるように取り組んでいく。	6ヶ月
3	10(6)	アンケートの内容をより具体的に、家族が答えやすいように工夫するなどアンケートの内容を見直してはどうか。アンケート結果は事業所内に掲示して利用者へも広く周知し、意見が言いやすい環境づくりにつなげることを期待したい。	平成31年3月に匿名アンケートを実施済み。職員やご家族に対してフィードバック行う。ご入居者に対するアンケート聴取も行いその意見に対してどう対応できるか職員間で話し合いを行う。	匿名アンケートを定期的実施し、ご家族が気軽に答えやすいアンケート内容や関係作りに取り組む。ご入居者には聞き取りにて意見の収集を行い、その結果を職員やご家族にフィードバック行う。	12ヶ月
4	49(18)	車で遠くへ出かけることも楽しみの一つであるが、事業所の周辺や町内を散歩するなど日常的な外出についても検討してほしい。利用者の意見も参考にしながら職員間で話し合い、気軽に日常的な外出が楽しめるよう支援方法などを検討して実践することを期待したい。	外出の支援にあたり、人員的な課題やリスクの問題などをどうしたら解消できるか、職員間で話し合い、気軽に外出支援が行える雰囲気と環境づくりを図る。	天候の良い日は外へ出かけ、散歩やひなたぼっこができるようにしていく。外出機会の多い季節だけでも、人員的な課題を解消できるように、人員配置やスケジュールの見直しを行い、できることから取り組んでいく。	6ヶ月
5	1(1)	現在までの取り組みやケアを振り返り、事業所として大切にすべきことや基本的な方針等について、利用者の意見等も踏まえて職員間で話し合い、理念の具現化に向けて取り組むことが期待される。	職員が個々にどういう思いを持ってケアを行いたいのか意見を聞き取りながら、ご入居者に対しても意見を頂き、互いに共通した意見や思いを取り入れた理念を作れるようにする。	全職員がどういう思いで、何をより大事にしたケアを行っていききたいか、個人面談にて聞き取り、考え方を収集する。ご入居者に対しても聞き取りアンケートにて要望や意見を頂き、職員で何ができるか話し合う場を設ける。	12ヶ月
6	7(5-2)	再度、職員にアンケートの目的を伝え、結果をフィードバックすると共に、日々のケアに活かすようホーム会議で話し合うなど、アンケート結果を活用することが望まれる。職員間でどんなケアや対応が不適切ケアにあたるか、具体的なケアの場面を想定しながら話し合い、不適切ケアを注意し合える関係づくりに期待したい。	年2回の研修やその他カンファレンスを通して不適切ケアについての理解をさらに深めていく。また、実際の対応の中で、注意し合えたり、より良いケアが行えるような雰囲気作りを図る。	ご入居者への具体的なケアや対応の場面を想定しながら不適切ケアについて話し合う場を設ける。どんな対応が不適切ケアにあたるのか理解したうえでサービスが行えるように、日頃から意識を持てるようにしていく。	6ヶ月
7	34(12-2)	併設の有料老人ホームと合同で研修を行っているが、さらに窒息や骨折、火傷など、事業所で日常的に起こりうる事故を想定したシュミレーション研修など、初期対応の訓練を日頃から行い、職員の実践力の向上を図る取り組みに期待したい。	事業所研修にてAED研修や応急処置の研修、緊急時の対応についての研修や伝達などを行い、実践力が身に付くような取り組みを行う。	合同研修への参加以外にも事業所として、緊急対応や動きのシミュレーションがスムーズに行えるよう訓練や伝達を行っていく。	12ヶ月